



2020年 東京五輪を考える



相撲界だけでなく、オリンピックも汚辱にまみれ、スポーツの原点は何かが問われています。2020年東京五輪は「福島震災は完全に復興した」という安倍の欺瞞に満ちた招致演説にはじまり、その裏では巨額の金・利権が渦巻いているといわれます。安倍政権は総選挙大勝の余勢をかって憲法9条を形骸化する改憲を打ち出しており、日本の五輪出場選手もこれまでになく自衛隊出身者が多く、小中学生の多くが外国選手の歓迎にかりだされるとされています。国威発揚、愛国心強調の格好の場になることが容易に想像されます。

ちなみに今回基調講演をしていただく谷口さんがレギュラー執筆している「放送レポート」の「スポーツとマスコミ」欄の最近5回のタイトルは「立ち上がったオリンピック反対ネットワーク」「東京オリンピックを口実にしたさまざまな企み」「拡大・深化するオリンピックの混沌」「都教委の国家主義に無批判なマスメディア」「存在意義を失った日本オリンピック委員会」です。

講師 谷口 源太郎 さん (スポーツジャーナリスト)

レポート 練馬の自衛隊と東京五輪 — 坂本 茂

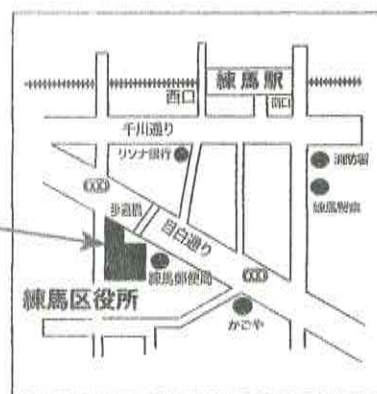
『射撃競技』応援に子どもを動員? — 中川 信明

日時 2018年2月10日 (土)

午後2時~5時

会場 練馬区役所 地下多目的会議室

資料代 500円



谷口源太郎さんのプロフィール

1938年鳥取市生まれ、早大中退後、講談社、文藝春秋社の雑誌記者を経て、現在はスポーツ評論家。著書は「スポーツを殺すもの」(花伝社)、「日の丸とオリンピック」(文藝春秋)、「冠スポーツの内幕 スポーツイベントを狙え」(日本経済新聞社)、「堤義明とオリンピックの野望の軌跡」(三一書房)、「巨人帝国崩壊」(花伝社)「スポーツの真実 迷走するスポーツ界の影と光」(三一書房)など多数。

主催：練馬・文化の会

協賛：メディア総合研究所、新日本スポーツ連盟練馬区連盟、戦争に協力しない！させない！練馬アクション、練馬平和委員会、練馬教育問題交流会

連絡・問合せ先 文化の会：田場 自宅 (3991) 9165 携帯 090-3238-9348